

花と緑の銀行だより

199号 2016.5



タイトル：向野の桜と袴腰（南砺市）

目次

- 花と緑の提言（「自然に優しい住みよいまちづくりをめざして」（南砺支店））… 2
- 活動事例〈「上市町の緑花推進活動について」（上市支店）〉…………… 3
- 技術講座〈花壇づくりの妙技1〉…………… 4
- 技術講座〈富山で育つ宿根草の組み合わせとデザイン^{②③}〉…………… 5
- 緑づくりコーナー〈庭木に利用する樹種の特徴と管理－サンシュユ－〉…………… 6
- この人あり〈「カンナロード32年間の継続について」（黒部支店）〉…………… 7
- 情報コーナー〈平成28年度花と緑のコンクール、花しょうぶ祭り〉…………… 7



自然に優しい住みよいまちづくりをめざして

花と緑の銀行 南砺支店長

南砺市長 田中 幹夫

風にそよぐ木々の緑もまぶしい季節となりました。日ごろ皆様方には、花と緑のまちづくりの推進に格別のご理解とご協力をいただいておりますことに深く敬意と感謝を申し上げます。

南砺市では、「自然に優しい住みよいまちづくり」を目標に緑の保全と緑化の推進に取り組んでいます。合併前より、各町村で花と緑の事業を行っていた取り組みを継承し、花のまちづくりによる地域連携により、住みよいまちづくりを目指しています。さらに、平成23年度より市の単独事業で「花いっぱいのまちづくり事業」を開始し、花と緑の銀行事業との相乗効果により、市内各地の観光ポイントの、より一層の緑化に努めています。

事業を始め、6年を迎えます。花と緑の頭取、グリーンキーパーの皆さんを主体に、自然環境や生活環境の保全、街の環境向上に市民協働であたり、花や緑が溢れ、もてなしの心に満ちた花のまちづくりでひとつになる南砺市が定着してきました。JR各駅前にハンギングバスケット、プランターの設置や、国道沿いにシバザクラの植栽、世界遺産である五箇山での花飾りなどで、南砺市に訪れる観光客を花と緑でおもてなしをしています。



写真1 城端駅のホーム



写真2 城端駅前

また、花と緑の施設として南砺市園芸植物園、いのくち椿館があります。それぞれの施設の特徴を生かし3月に「南砺いのくち椿まつり」、5月に「南砺花と緑のフェスティバル」、11月には、「南砺菊まつり」と年間を通じて多くの花に関するイベントを開催し、地域振興と新たな花文化の創造・定着に努めています。

そのほか、南砺市内には、たくさん花壇があり、地域の緑化推進のリーダーである頭取・グリーンキーパーの方々と地元の皆さんで土壌整備、花苗植込み、管理をしていただき、毎年夏には、花壇コンクールを開催しています。切磋琢磨し、よりよい花壇づくりを目標に、地域住民のみなさんにつながりの輪が広がっています。



写真3 花壇コンクール審査中

多くの方々の花を愛でる気持ちで一輪一輪の花を咲かせ、その活動の積み重ねが、平成26年度全国花のまちづくりコンクールにおいて市町村部門「農林水産大臣賞」を受賞し、大輪の花を咲かせていただいたと思っております。

人は、緑に囲まれた地で花を見る、花に触れることで、やさしい気持ちになれます。人と人とのつながりの輪も広がります。花と緑を通して、たくさんの方々と出会うことを楽しみに今後とも事業の充実を図ってまいります。

最後になりましたが、花と緑の育成にさらなる情熱を持ち、潤いと安らぎに満ちた花いっぱいのまちづくりに邁進していきたいと考えております。頭取、グリーンキーパーの方々、市民の皆様には、一層のご支援、ご尽力を賜りますようお願い申し上げます。



写真4 縄ヶ池のみずばしょう

「上市町の緑花推進活動について」

花と緑の銀行上市支店

上市町は、富山県東部に位置し、白岩川、上市川、早月川といった水源からなる豊かな田園風景と、日本百名山の一つ「劔岳」の勇壮な姿が広がる自然の恵み豊かな町です。また、町内には、万病に効くとされ、全国各地から参詣者が訪れる全国名水百選の「穴の谷の霊水」や、日石寺を始めとする歴史ある寺院、伝統の繊維業、売薬業に加え、近年では化学工業も盛んであり、自然、伝統文化や工業等、魅力と存在感あふれる町です。

2012年には、NPO法人森林セラピーソサエティより、眼目・大岩・馬場島の3つのエリアからなる「劔・きらめきの森」が森林セラピー基地として認定されました。森林セラピーとは、科学的に実証された森林の持つ癒しパワーを利用した森林浴のことです。フィトンチッドと呼ばれる植物が放つ天然のアロマ物質が、人間に対し、ストレスを和らげ、リフレッシュ効果をもたらし、心身の健康を促すことがわかっています。上市町では、森林セラピー基地でのウォーキングやヨガといった基本的なプログラムに加え、各エリアの特色を活かした多種多彩な癒しプログラムを提供しています。なかでも、大岩エリアでは、アニメ映画「おおかみこどもの雨と雪」で主人公の花たちが住む家のモデルになった、古民家「花の家」を見たり、日石寺で不動明王像の写仏や、滝行をするなど、他にはない特別なプログラムを体験することができます。



写真1 森林セラピー基地

このような上市支店では、現在22名の頭取、グリーンキーパーが在籍しており、地域の緑花推進のため、日々花と緑の活動を進めています。平成25年に新町制60周年記念としてリニューアルした花壇での花づくりが主な活動です。花壇はスーパー農道沿いのオープンスペースに整備されており、通行者の方からよく見えるようになっています。上市町内外から通る人に癒しの気持ちを提供し、上市町のイメージアップにつながることを目指し、花づくりを行っています。花の色合いや、配置等のデザインの工夫、植栽後の水やり、施肥、花がらつみ等の維持管理も1年通して行い、よりよい花壇になるよう、全員で協力し合い、試行錯誤しながら活動を進めています。

また、昨年度は南砺支店さんの花壇を視察研修させていただき、現地の頭取・グリーンキーパーの方に活動の状況や、花壇整備のポイントなどの話を伺うことができました。南砺支店さんの素晴らしい花壇をいくつも拝見することで、上市支店のメンバーも感化され、より一層花壇への愛情と、花づくりへの意欲が深まりました。視察により、現地の頭取・グリーンキーパーの方との花好き同士の交流が生まれ、相乗効果で緑花推進が促進されていけば素晴らしいことだなと感じます。



写真2 スーパー農道沿いの花壇

花壇を生かす管理通路

花と緑の銀行 普及研修部

花壇に苗を植え付ける前に、管理通路を設けておくと、長く花を咲かせるための花柄つみや切り戻し、施肥に除草などの管理作業にとっても便利です。県内で見つけた素敵な花壇の通路を紹介します。

1. 敷石の管理通路

南般若花と緑の推進協議会の花壇には、綺麗に整形されたインパチェンスの回りを、敷石で取り囲んだ管理通路が設けてあります。すぐ隣のペチュニアもこの敷石のおかげで、花を傷めることなく、いつでも切り戻しができます。また、ハート型のトレニアとの間も、籾殻堆肥を敷いて、花と花との間隔を取ってあります。細かな管理作業がしやすくなることはもちろん、風通しを良くしてムレを防いだり、急激な乾燥や雑草の発生を防ぐなど、いろいろな効果が期待できます。デザインをはっきりと際立たせる効果も見逃せません（写真1）。



写真1 敷石の管理通路
(砺波市 H27南般若花と緑の推進協議会)

2. 白い玉砂利が花や緑を引き立てる！

黒河地域振興会の花壇には、白い玉砂利を敷いた管理通路が設けてあります（写真2）。前面から見ると管理通路があることを感じさせません（写真3）。これは草花の配置を手前は低く、後ろを高くすることで、前方の花壇と後方の花壇を一体化させてあるからです。限られた花壇にこんな広い通路を設けることはもったいないような気もしますが、花の配置を工夫することで、立体感のある花壇を組み立てることができます。また、この通路に入ってみると、花々にすっぽりと包まれたような、不思議な体験ができます。さらに、白い玉砂利は花の色合いを鮮やかに引き立たせたり、葉の緑をより一層みずみずしく輝かせる効果もあります。この玉砂利の白さを保つため、時々洗って浄しておられるとのこと、美しい花壇に仕上げるためのご努力に、本当に頭が下がります。



写真2 白い玉砂利が花壇を引き立てる！
(射水市 H27黒河地域振興会)



写真3 手前は低く、奥は高く、立体的な配置
(射水市 H27黒河地域振興会)

3. デザインを決める管理通路！

塚原小学校は熱心に花壇づくりに取り組み、県のコンクールでも数々の素晴らしい賞を受賞されています。残念ながら、校舎の外構工事の関係で、これまでの西側の花壇を続けることができなくなってしまいましたが、「花作りを通して子供たちの心を育てる」という伝統を引き継ぐため、校舎の東側に立派な花壇が造成されました。

新しい花壇は子供たちの石拾いに始まり、土の足りないところは購入した赤土を入れてならしたそうです。さらに、近所の方々の協力で、堆肥や腐葉土、石灰などを混和し、しっかりと土作りをしたこともあって、初年度とは思えないような生き生きとした花が咲いていました（写真4）。

花壇を最初に見た時、コンクリート板やテストピースを使ってデザイン性の高い管理通路が作られていることに驚かされました。半円形や三角形などを巧みに組み合わせて、まさに、花壇デザインを決定づけるような通路が設置され、それぞれの区画毎に変化に富んだ花づくりが行われていました。今後、土作りがさらに進めば、花々が管理通路とも一体化し、素晴らしい花壇になるものと、本当に、将来が楽しみな花壇が誕生しました。



写真4 新しく造成された「塚原っ子スマイルフラワーガーデン」
(射水市 H27射水市立塚原小学校)



写真5 テストピースを活用したアーチ型の管理通路
(射水市 H27射水市立塚原小学校)

富山で育つ宿根草の組み合わせとデザイン②

職藝学院

教授 渡 邊 美保子

フォプシス・ステイローサ

フォプシス・ステイローサは、コーカサスの山地に自生する寒さに強い宿根草です。日本では、ハナクルマバソウと呼ばれています。富山では、5月中旬から6月初めにかけて咲きます。花は、やさしい桃色で、たくさんの小花をひとまとめにした花束のような姿で咲きます（写真1）。草丈は、30cm位で、横にこんもりと広がってゆく性質をもちます。イギリスでは、ロックガーデンや宿根草ボーダー花壇の手前などに植栽されています。



写真1 6月初旬。開花する頃、花茎が立ちあがる。花には、甘い香りがある。

フォプシス・ステイローサの茎は、花の咲く前はタンポポの葉のように地面に寝そべっています。しかし、花が咲き始める頃になると、茎がしゃきっと立ち上がってきます。その茎の先には、数えきれないほどの薄桃色の小さなつぼみがぎっしりつまっています。つぼみはマッチ棒のような形で筒状に大きくなります。つぼみの先がぷくっとふくらむと、5つに割れて5枚の花弁になります。花が開くと中から透き通った桃色の長い糸のようなものが伸びてきます。花が熟してくると、その糸の先には白い粉が吹き出てきて、まるで白い綿棒の頭のような形に変わります。こうなると、次の出番を待っているつぼみたちは、また、マッチ棒のような形になって、先に咲いていた花と花の間から、割り込むように突き

出てきます。こんなことが、何回か繰り返されて花が咲き進みます。

フォプシス・ステイローサは、四角形の茎の節を軸にして、ぐるりと一周するように細くてとがった葉をつけます。葉を数えて見ると、6枚だったり、8枚だったり、9枚だったりします。どんな決まりで葉っぱの数を決めるのかさっぱりわかりません。葉だけを見ると、道端でよく見かける雑草のヤエムグラとよく似ています。花の咲く前なら、雑草だと思って引き抜かれてしまいそうな姿です。

フォプシス・ステイローサは、午前中の日が差す所を好みます。東側に面して石積みをした花壇があるなら、石積みに沿って苗を植えましょう。水はけのよい環境がお気に入りです。花のついた茎は、ものすごい勢いで空いている所を見つけて伸びてゆきますので、花を楽しんだ後は、暴れている茎を思い切って短く切り戻します。

組み合わせは、クリーム色や淡い紫色のビオラや水色のワスレナグサなど、花の時期が少しずつ重なる一年草を隣に植えると良いでしょう（写真2）。宿根草では、タイム・ロンギカウリス、シバザクラなど、地面を這いつくばって生きるもの同志を植えますと、お互いに少しばかり気をつかいながら育つようです。



写真2 手前から、フォプシス、ビオラ類、ワスレナグサの組み合わせ。

庭木に利用する樹種の特徴と管理ーサンシュユー

日本樹木医会富山県支部

樹木医 西村正史

春には黄色い花を咲かせる多くの花木がありますが、今回は秋に果実も楽しむことのできる花木、サンシュユを紹介しします。

1. 特徴

サンシュユは、朝鮮半島原産で、高さは4～5m程度の落葉性樹木です。元々は薬用植物として江戸時代中期に朝鮮から持ち込まれましたが、現在では春を告げる花木のひとつとして、切り花や庭木、公園樹として親しまれています。

3月上中旬から4月上中旬にかけて、葉が芽吹く前に黄色い小花を枝いっぱいに咲かせます（図-1）。満開の花が黄金色に輝くように咲く姿から「ハルコガネ」の別名があります。

秋になると、グミに似た1.5～2cmの楕円形で光沢のある果実をつけます（図-2）。果実は10月頃から真っ赤に熟し、翌年の1月中旬頃まで枝についており、長い期間楽しむことができます。果実がたくさん着いている様子から、「アキサンゴ」とも呼ばれています。この果実は食用になり、味はやや渋みのある甘酸っぱさがあります。滋養・強壯の薬効がある山茱萸（サンシュユ）酒をつくることもできます。

葉は対生で、長さ8～10cmで、中脈に対して丸みをもった側脈が6～7対あります（図-3）。このような葉の特徴は、ミズキ科に共通しています。

なお、宮崎民謡の「庭のサンシュユ〜♪」という種蒔節（ひえつきぶし）に出てくる歌詞の「サンシュ」は、ミカン科の山椒（サンショウ）のことで、サンシュユではありません。



図-1 サンシュユの花。右上の写真は小花を拡大したものです。2011年4月1日に撮影。

2. 維持管理

サンシュユの花芽は短い枝の先端に付き、長く伸びすぎた徒長枝には付きません。この長く伸びすぎた枝を短く切り戻して整えるのが基本の剪定です。長い枝を切り、短く太い枝を増やすことで花付きもよくなります。枝分かれしている付け根から短い枝ごとぱっさりと切り詰めてしまうと花芽ごと枝を切り落とすことになり、花付きが悪くなりますので気を付けましょう。剪定は落葉期に実施してください。

なお、サンシュユは水はけの良い土であれば特に土質は選ばず、普通の庭土なら問題なく育ちますので、庭木として優れています。



図-2 サンシュユの実。右上の写真は実を拡大したものです。2009年12月17日撮影。



図-3 サンシュユの葉。2012年5月7日撮影。

※写真はすべて富山県中央植物園で撮影したものです。



「カンナロード32年間の継続について」

花と緑の銀行黒部支店

前沢地方銀行 頭取 舟子 忠明

昭和59年黒部市制30周年とYKK創業50周年記念祝賀会に、当時の前アメリカ合衆国大統領ジミー・カーター氏が来市され、当地区にあるYKK研修施設ガーデンハウスに宿泊されました。その際にお通りになった道路を、花（カンナ）で飾り国際親善と環境美化に役立てるために、昭和60年より活動に取り組んできました。

以来、この花の道をカンナロードと名付け、約1キロメートルに及ぶ花の道を地域ぐるみで植栽を続けて、今年で32回を数えました。

当初は、路肩を掘り起こしただけの花壇でしたが、活動の継続が評価され、市の助成により現在の花壇が造成されました。

カンナロードは、毎年5月の連休最終日にカンナの球根を定植し、11月23日の勤労感謝の日に球根を掘り起こします。掘り起こした球根は消毒をし、来春までイモ穴で大事に貯蔵します。約7か月間、地区住民9団体・約250名が分担して植付けや除草を行っています。最も大変な作業は、自治振興会が行っている灌水作業です。定植後の5月より9月ご

ろまで雨の日を除き、毎日行っています。

協力団体のひとつである前沢小学校は、平成28年3月をもって閉校となりました。今後は、統合により新たにスタートした桜井小学校PTAに協力していただく予定にしています。

カンナロードは、いろいろな団体・地区住民の協力をいただきながら、環境美化はもちろんのこと、異世代交流の場として目的を果たしています。

先人が行ったカンナの植栽事業を継続し、次世代にしっかり引き継ぎたいと思います。



〈情報コーナー〉

■ 平成28年度花と緑のコンクール実施予定

コンクール名	応募締切	審査日
● 富山県花のまちづくりコンクール		
幼稚園・保育所花壇部門	7月13日(水)	7月21日(木)～7月22日(金)
学校花壇部門	7月20日(水)	7月28日(木)～7月29日(金)
花の道部門	7月25日(月)	8月1日(月)～8月2日(火)
一般花壇部門	8月1日(月)	8月8日(月)～8月10日(水)
● 花と緑の標語コンクール	7月29日(金)	8月下旬
● 花と緑のポスター原画コンクール	9月9日(金)	9月中旬

■ 花しょうぶ祭りの開催について

県民公園頼成の森に親しんでいただくことを目的に、今年は6月10日(金)～6月19日(日)の10日間、「第31回頼成の森花しょうぶ祭り」が開催されます。

約6ヘクタールの水生植物園に、600品種70万株のハナショウブが豪華に咲き競います。

詳細はホームページ等でお知らせいたします。



平成27年度 コンテナガーデン大賞

「古き万葉の里に新草かおる早春の譜」

(高岡市福田地区花と緑の銀行)



平成27年度 わたしの寄せ植え 第1位

「春を夢見る」

(高岡市 浅野己美氏)

表紙写真：タイトル：「向野の桜と袴腰」 撮影場所：南砺市向野

裏表紙写真：「キタコブシとソメイヨシノの競演：2016年4月上旬 上市町大岩にて」・・・写真提供 長谷川 幹夫氏





「キタコブシとソメイヨシノの競演：2016年4月上旬 上市町大岩にて」



花と緑の銀行だより 199号

発行日 平成28年5月

編集発行 公益財団法人 花と緑の銀行

〒939-2713 富山県富山市婦中町上轡田42

TEL 076-466-2425

FAX 076-465-5923

ホームページアドレス <http://www.bgtym.org/fgbank/>

富山県中央植物園

〒939-2713 富山県富山市婦中町上轡田42

TEL 076-466-4187

FAX 076-465-5923

ホームページアドレス <http://www.bgtym.org/>

県民公園頼成の森

〒939-1431 富山県砺波市頼成156

TEL 0763-37-1540

FAX 0763-37-1450

ホームページアドレス <http://www.bgtym.org/ranjyounomori/>